

意見交換会（子育て支援センター かんがるー）

平成 30 年 4 月 27 日(金) 10:30～11:45

参加者：10 人

意見：認定こども園ができるのはいいが、就労予定なので、子どもは保育園に 3 歳児で入園を考えている。祖母がいるが、幼稚園の保育時間は時間が短く、夏休みもあり、厳しい状況である。

意見：保育園の生活はわかるが、幼稚園、また認定こども園がわからず、想像がつかないが、あれば助かる方もいるのではないか。デメリットにもあるように、早く帰る子がいたり、夏休みがあることが心配ではある。

Q：保育料について知りたい。4 万ほど払っている方もあると聞くと、算出方法は決まっているのか。

A：市区町村民税所得割額の保護者（父母）の合計で算定を行っている。

Q：そんなにたくさんの子どもがいるのか。

A：3 歳児は子ども 20 人で保育士 1 人というクラス編成になるので、待機児童がでる可能性もあるのではないかと。

Q：1 号認定の子どもが保育園に入れなから、認定こども園をつくるのか。

A：仕事をしていなくても集団保育を受けることができると考える。現在は選択できない状況である。児童福祉法があり、保育園に入園するためには要件に該当していないと、この地域では集団保育を受けることができない。保育園、幼稚園は校区が決められているわけではなく、選択はできるので、現在、大石幼稚園へ通園している子どもがある。飯高や飯南からは遠いのではないかとという思いもある。

Q：大石幼稚園が認定こども園になれば、次に近い幼稚園はどこになるのか。

A：その大石認定こども園となる。（園名や場所は未定ではある）

Q：認定こども園では保育園児と幼稚園児のクラスは同じなのか。

A：クラスは同じである。ただし、保育時間が違う。

Q：教育はどうなるのか。

A：現在も保育園、幼稚園の保育に違いはなく、認定こども園になっても保育内容に違いはない。様々な経験を通して生きていく力をつけていくということはかわらない。認定こども園の視察で、事前の保育園、幼稚園のすり合わせをしっかりとし、日々、保育内容やデメリット等も話し合いをして対応し

ていることがわかった。認定こども園も形態もさまざまであるが、飯南地域では、今の保育園に幼稚園の機能をつける形となる。

Q：幼稚園は園服があるが、認定こども園になれば、どうなるのか。

A：現在、幼稚園で園服を利用していないところが多い。スモックの利用もその園で考えていくが、基本的には、現在の保育園に幼稚園の機能をつける形になるので、保育園に合わせていくことになる。

Q：保育園を基盤とした認定こども園を作るのか。

A：幼保連携型という認定こども園が多いが、幼稚園に保育園の機能をつけるとなると経費もかかるが保育園に幼稚園の機能をつけるという保育所型が、飯南地域のかたちになるだろう。四日市市の認定こども園は旧小学校の校舎を利用して作られている。地域に応じた形をそれぞれにとることで、メリットも大きい。保育者（担任）はかわらない。柔軟に考えていきたい。デメリットにもある保護者同士の交流も遠足、懇談会等、様々な工夫をしている。

Q：認定こども園にするのであれば、何年を目途に考えているのか。

A：平成 30 年 6 月末に一旦答えを出したい。もう一度、飯南地域で意見交換会を行い、答えを出していくが、再度検討も視野に入れていくことも可能である。

意見：働いていないので、認定こども園があれば 1 号認定で入園を考えたい。

意見：自身が幼稚園で育ってきたが、この地域は保育園へ入園させるという考え方が大きく、悩んでいるので、認定こども園という両方の機能のある園があるといいと思う。保育園であれば、二人目の出産時期も考えていかないといけないが、認定こども園だと退園させることはないのうれしい。